



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025 年 第 39 週（9 月 22 日～9 月 28 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5 人	類型 患者 2 人、無症状病原体保有者 3 人 血清型 O157 2 人、O26 1 人、 O103 1 人、不明 1 人
四類感染症	デング熱	1 人	推定感染地域 国外
	レジオネラ症	5 人	病型 肺炎型 5 人
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人	病型 腸管アメーバ症
	ウイルス性肝炎	1 人	病型 その他
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人	
	梅毒	6 人	病型 早期顕症 I 期 3 人、 無症状病原体保有者 3 人
百日咳		69 人	
		年齢階級 0 歳 3 人、1 歳 2 人、2 歳 1 人、3 歳 1 人、 5 歳 1 人、6 歳 2 人、7 歳 7 人、8 歳 5 人、9 歳 2 人、 10 歳代 30 人、30 歳代 5 人、40 歳代 6 人、 50 歳代 2 人、60 歳代 1 人、70 歳代 1 人	

〈百日咳の患者情報〉

第 39 週に届出があった百日咳の患者数（第 38 週以前に診断された患者を含む）は 69 人であった（前週 68 人）。第 39 週に診断された患者数は 59 人で、この内訳を年齢階級別にみると、10～14 歳が 19 人（全体の約 32%）と最も多く、次いで 5～9 歳が 13 人（約 22%）であった（図 1）。

（参考）埼玉県感染症対策課 最新の感染症情報(URL: https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/news/widespread-infectious_disease.html)

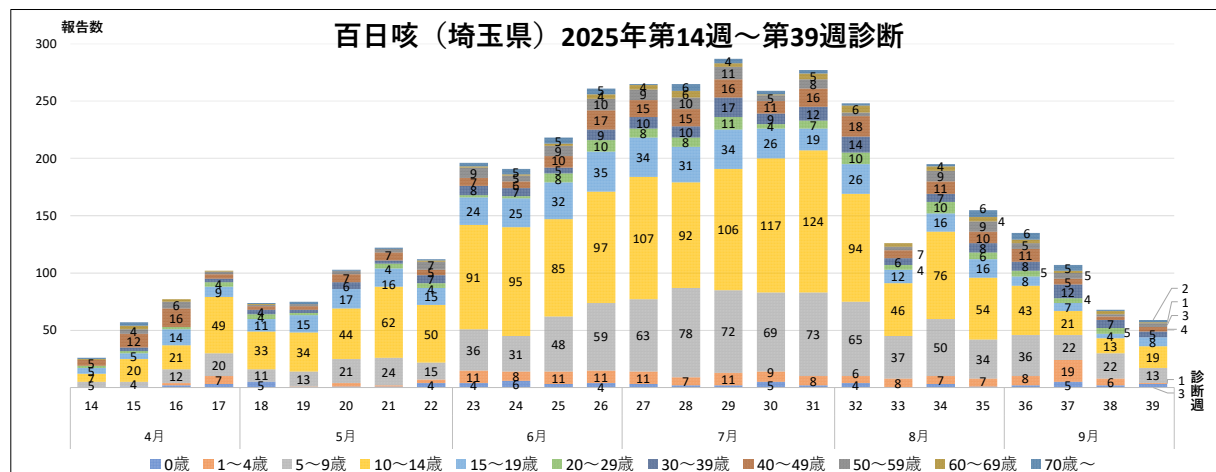
〈定点把握疾患の患者情報〉

新型コロナウイルス感染症（8.99→7.04: 図 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少した。基幹定点における入院患者の報告は 31 人（前週 27 人）であった。RSウイルス感染症（2.06→1.88: 図 3）の定点当たり報告数は、前週と同水準であり、多い状況にある。年齢階級別では、1 歳以下が全体の約 74%であった。インフルエンザ（0.96→1.43: 図 4）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、流行期入りの目安である 1.00 を上回った。急性呼吸器感染症（75.75→78.04: 図 5）の定点当たり報告数は、報告開始となった 4 月以降、おおむね 60.00～80.00 の範囲で推移している。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 38 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 18 人（前週 15 人）、インフルエンザ（入院）1 人の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト(URL: <https://id-info.jhs.go.jp/>)で御覧になれます。

<注目すべき疾患（百日咳）>

図1 百日咳の診断週別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

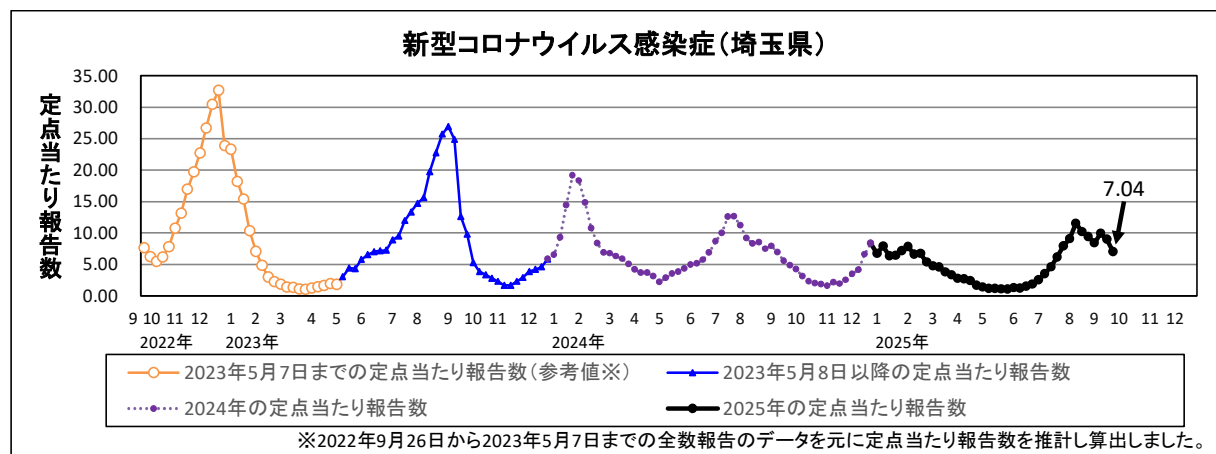


図3 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

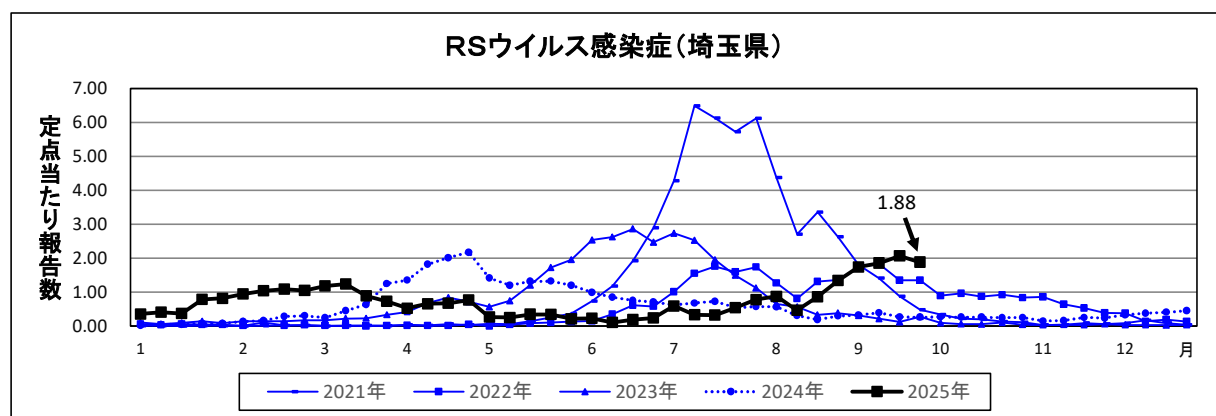


図4 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

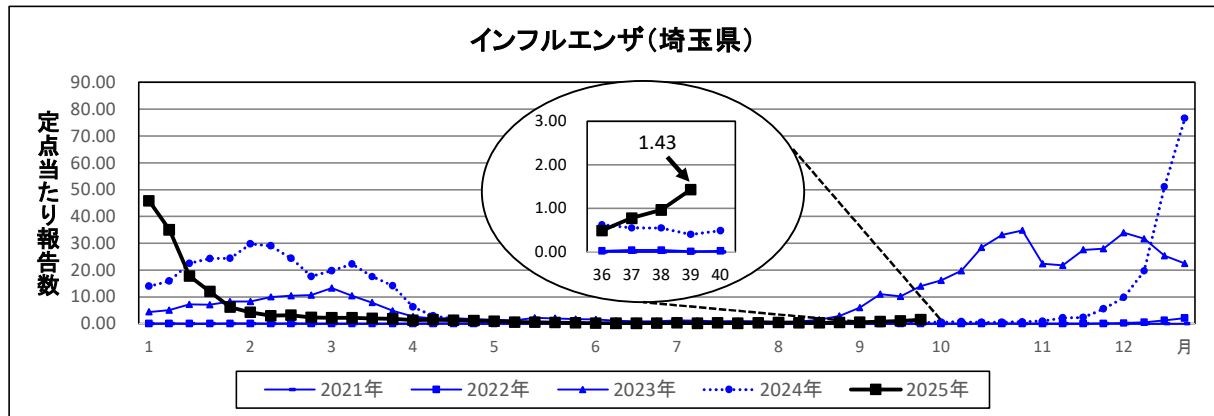
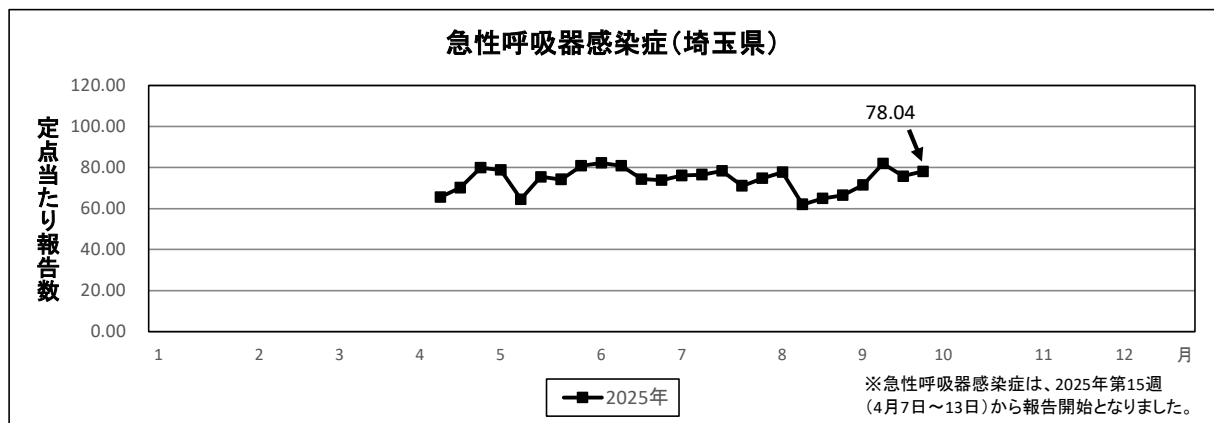


図5 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第39週)

(2025年9月30日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 * 1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		4	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	125			
四類感染症					
E型肝炎		29	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		5	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	5	73
つつが虫病		1	レプトスピラ症		1
デング熱	1	5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	8	侵襲性肺炎球菌感染症	1	123
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	8	水痘(入院例に限る)		22
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	59	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	6	412
急性脳炎		36	播種性クリプトコックス症		3
クリプトスポリジウム症		1	破傷風		6
クロイツフェルト・ヤコブ病		10	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		50	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
後天性免疫不全症候群		25	百日咳	69	4242
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		16	麻しん		9
侵襲性髄膜炎菌感染症		4	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第39週

9月22日～9月28日)

保健所		インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	急性呼吸器感染症	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	報告数	250	1,232	13,657	207	22	276	410	18	60	43	43	114	7	1	38	-	-	18	-	-	1	31
	定点当たり	1.43	7.04	78.04	1.88	0.20	2.51	3.73	0.16	0.55	0.39	0.39	1.04	0.06	0.02	0.88	-	-	1.50	-	-	0.08	2.58
朝 霞	報告数	57	223	1,067	7	-	15	36	-	1	1	2	11	1	-	1	-	-	7	-	-	1	1
	定点当たり	3.56	13.94	66.69	0.70	-	1.50	3.60	-	0.10	0.10	0.20	1.10	0.10	-	0.20	-	-	7.00	-	-	1.00	1.00
鴻 巣	報告数	14	139	1,494	19	1	31	33	-	1	6	2	2	1	-	8	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.17	11.58	124.50	2.71	0.14	4.43	4.71	-	0.14	0.86	0.29	0.29	0.14	-	2.67	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	14	13	521	-	-	-	44	1	2	1	3	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	3.50	3.25	130.25	-	-	-	14.67	0.33	0.67	0.33	1.00	2.67	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	5.00
秩 父	報告数	-	19	83	1	1	4	-	1	-	1	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	4.75	20.75	0.33	0.33	1.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	-	25	232	1	-	2	-	1	4	6	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	-	6.25	58.00	0.33	-	0.67	-	0.33	1.33	2.00	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
熊 谷	報告数	5	38	440	3	1	11	11	4	3	2	4	6	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.63	4.75	55.00	0.75	0.25	2.75	2.75	1.00	0.75	0.50	1.00	1.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00
加 須	報告数	1	39	146	9	-	4	2	-	1	5	1	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
	定点当たり	0.20	7.80	29.20	3.00	-	1.33	0.67	-	0.33	1.67	0.33	-	-	-	2.00	-	-	1.00	-	-	-	-
春 日 部	報告数	9	38	772	3	1	15	27	1	4	1	4	5	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.50	6.33	128.67	1.00	0.33	5.00	9.00	0.33	1.33	0.33	1.33	1.67	0.33	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	17	113	1,233	22	1	19	15	1	3	4	-	11	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.89	12.56	137.00	4.40	0.20	3.80	3.00	0.20	0.60	0.80	-	2.20	0.20	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	3	27	381	3	-	1	23	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	0.75	6.75	95.25	1.00	-	0.33	7.67	0.33	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00
草 加	報告数	11	99	671	25	1	18	27	1	6	-	2	3	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.00	9.00	61.00	3.57	0.14	2.57	3.86	0.14	0.86	-	0.29	0.43	0.14	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	41	138	960	37	3	21	24	1	4	3	2	9	1	1	4	-	-	2	-	-	-	2
	定点当たり	3.15	10.62	73.85	3.70	0.30	2.10	2.40	0.10	0.40	0.30	0.20	0.90	0.10	0.20	0.80	-	-	2.00	-	-	-	2.00
南 部	報告数	15	47	315	19	2	17	22	-	7	1	1	3	-	-	1	-	-	3	-	-	-	5
	定点当たり	3.00	9.40	63.00	6.33	0.67	5.67	7.33	-	2.33	0.33	0.33	1.00	-	-	1.00	-	-	3.00	-	-	-	5.00
川 越 市	報告数	18	30	858	3	2	15	17	3	3	2	4	9	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.00	3.33	95.33	0.60	0.40	3.00	3.40	0.60	0.60	0.40	0.80	1.80	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	6	18	583	-	-	1	9	-	1	3	1	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
	定点当たり	0.75	2.25	72.88	-	-	0.20	1.80	-	0.20	0.60	0.20	0.60	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	3.00
川 口 市	報告数	19	77	1,011	10	5	17	24	1	7	1	3	15	-	-	4	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	1.36	5.50	72.21	1.25	0.63	2.13	3.00	0.13	0.88	0.13	0.38	1.88	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	2.00
さいたま市	報告数	20	149	2,890	45	4	85	96	2	13	3	13	20	1	-	14	-	-	3	-	-	-	5
	定点当たり	0.47	3.47	67.21	1.61	0.14	3.04	3.43	0.07	0.46	0.11	0.46	0.71	0.04	-	1.56	-	-	3.00	-	-	-	5.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

9月 30日 13:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報 告 患 者 数			年 齢 別							(2025年第39週 9月22日～9月28日)									
	合計	－6ヵ月	－12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	250	1	2	5	5	10	9	8	8	8	8	5	83	31	20	14	15	12	4	2	－		
新型コロナウイルス感染症	1,232	14	11	20	8	13	7	13	16	15	17	22	185	78	114	134	138	127	108	98	94		
	合計	0歳		1-4				5-9					10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
急性呼吸器感染症	13,657	842		5,106				3,199					1,385	463	472	532	497	379	308	245	229		
	合計	－6ヵ月	－12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～								
RSウイルス感染症	207	34	43	77	32	13	6	2	－	－	－	－	－	－	－								
咽頭結膜熱	22	－	1	6	3	4	3	1	1	1	－	－	1	－	1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	276	－	1	5	8	12	34	39	36	39	29	17	34	6	16								
感染性胃腸炎	410	6	30	56	45	34	46	26	23	17	16	20	66	11	14								
水痘	18	－	－	4	3	1	－	3	－	1	1	－	3	2	－								
手足口病	60	4	7	22	8	8	1	4	4	1	－	1	－	－	－								
伝染性紅斑	43	－	－	2	7	11	6	4	4	5	3	1	－	－	－								
突発性発しん	43	1	10	22	5	4	1	－	－	－	－	－	－	－	－								
ヘルパンギーナ	114	3	13	31	19	14	10	8	6	4	3	－	1	1	1								
流行性耳下腺炎	7	－	－	－	1	1	1	1	2	－	1	－	－	－	－								
	合計	－6ヵ月	－12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－		
流行性角結膜炎	38	－	－	2	3	－	－	1	－	1	1	－	2	5	7	4	6	3	－	3			
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
マイコプラズマ肺炎	18	－	3	8	3	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1						
クラミジア肺炎 #3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
インフルエンザ(入院)	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1						
新型コロナウイルス感染症(入院)	31	－	－	1	－	－	－	－	－	1	1	－	－	2	－	2	24						

※ 表中の数値は各定点からの報告数（-：0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第37週 (9月8日～9月14日)

令和7年10月1日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,775):インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.93)、鹿児島県(3.00)、福岡県(2.30)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は63例と前週と比較して増加した。都道府県別では22都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(3例)、1～9歳(15例)、10代(4例)、20代(1例)、40代(4例)、50代(2例)、60代(4例)、70代(12例)、80歳以上(18例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(17.93)、愛媛県(14.89)、長崎県(14.61)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,710例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(83例)、1～9歳(63例)、10代(36例)、20代(16例)、30代(22例)、40代(44例)、50代(70例)、60代(145例)、70代(425例)、80歳以上(806例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,839)定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は群馬県(92.39)、岩手県(91.17)、栃木県(87.13)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,295):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.33)、山形県(3.15)、福岡県(3.14)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(1.09)、沖縄県(0.76)、鹿児島県(0.65)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(5.24)、茨城県(4.29)、鳥取県(3.84)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(9.25)、鳥取県(8.74)、群馬県(8.71)である。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は和歌山県(0.48)、長崎県(0.48)、宮城県(0.42)、京都府(0.38)である。手足口病の定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(4.38)、沖縄県(1.48)、新潟県(0.80)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(5.08)、佐賀県(4.83)、大分県(4.33)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は富山県(2.93)、山形県(2.92)、長野県(2.59)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は京都府(0.20)、和歌山県(0.19)、鹿児島県(0.16)である。

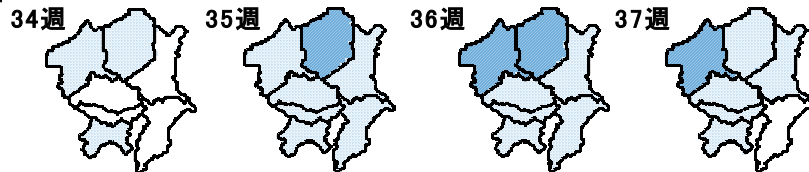
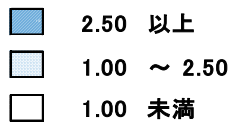
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は秋田県(6.75)、群馬県(3.89)、青森県(3.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。3都道府県から3例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(1例)、20代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第37週(9月8日～9月14日):通巻第27巻 第37号 より

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、群馬県(2.71)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2025年 37週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	2,732	834	22	48	13	132	182	278	159
	定点当たり	0.72	0.71	0.32	1.02	0.30	0.75	0.99	0.67	0.66
新型コロナウイルス感染症	報告数	31,831	8,004	611	431	322	1,738	1,444	1,852	1,606
	定点当たり	8.43	6.81	8.99	9.17	7.32	9.93	7.85	4.43	6.69
急性呼吸器感染症	報告数	229,689	77,215	4,769	4,095	4,065	14,293	11,714	22,690	15,589
	定点当たり	59.83	65.83	70.13	87.13	92.39	81.67	64.01	54.41	65.23
RSウイルス感染症	報告数	3,781	1,118	62	61	65	206	113	375	236
	定点当たり	1.65	1.57	1.63	2.26	2.71	1.89	0.99	1.43	1.70
咽頭結膜熱	報告数	677	156	13	1	9	28	29	61	15
	定点当たり	0.29	0.22	0.34	0.04	0.38	0.26	0.25	0.23	0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,312	1,642	163	97	38	343	290	494	217
	定点当たり	1.88	2.30	4.29	3.59	1.58	3.15	2.54	1.88	1.56
感染性胃腸炎	報告数	11,033	3,542	217	99	209	540	465	1,381	631
	定点当たり	4.81	4.96	5.71	3.67	8.71	4.95	4.08	5.25	4.54
水痘	報告数	444	123	9	5	-	39	15	37	18
	定点当たり	0.19	0.17	0.24	0.19	-	0.36	0.13	0.14	0.13
手足口病	報告数	1,360	423	8	7	8	80	84	154	82
	定点当たり	0.59	0.59	0.21	0.26	0.33	0.73	0.74	0.59	0.59
伝染性紅斑	報告数	3,846	478	41	57	47	49	103	73	108
	定点当たり	1.68	0.67	1.08	2.11	1.96	0.45	0.90	0.28	0.78
突発性発しん	報告数	772	252	10	6	13	45	32	90	56
	定点当たり	0.34	0.35	0.26	0.22	0.54	0.41	0.28	0.34	0.40
ヘルパンギーナ	報告数	2,236	894	37	37	39	156	135	345	145
	定点当たり	0.97	1.25	0.97	1.37	1.63	1.43	1.18	1.31	1.04
流行性耳下腺炎	報告数	125	41	1	3	1	11	10	9	6
	定点当たり	0.05	0.06	0.03	0.11	0.04	0.10	0.09	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	12	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.00	-	-	-	-	0.03	-	-
流行性角結膜炎	報告数	752	304	56	10	23	50	36	44	85
	定点当たり	1.11	1.45	3.29	0.83	1.64	1.16	1.09	1.13	1.67
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	16	3	-	-	-	-	-	1	2
	定点当たり	0.03	0.03	-	-	-	-	-	0.04	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	523	110	14	14	35	16	6	13	12
	定点当たり	1.10	1.26	1.08	2.00	3.89	1.33	0.67	0.52	1.00
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	3	2	1	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	0.08	-	-	0.08	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県における 2024/2025 シーズンのインフルエンザ

インフルエンザの 2025/2026 シーズンが第 36 週 (9/1-9/7) からスタートしました。毎週のインフルエンザ流行状況は、感染症情報センターホームページ内※¹で掲載していきます。

昨シーズン (2024/2025 シーズン) のインフルエンザを全体の流行規模を表す総定点当たり報告数でみると 321.10 で、2023/2024 シーズン (676.29) のおよそ 1/2、過去 10 年の平均 292.96 とほぼ同じでした。しかし、昨シーズンは急激に患者数が増加したのが特徴的で、流行のピークは 2024 年第 52 週 (2024/12/23-12/29) で定点当たり報告数 76.56 を記録しました (図)。この 76.56 は、1999 年の感染症法施行以降、過去 2 番目に高い値でした。

病原体定点において採取された検体からは、431 件のインフルエンザウイルスが検出されました。その内訳は、AH1pdm09 が 293 件、AH3 が 70 件、B ビクトリア系統が 65 件でした (2 件は A 亜型不明、1 件は B 系統不明)。流行初期からピーク時 (第 52 週) までは主に AH1pdm09 が、ピーク後の 1 月以降は AH1pdm09 に加え AH3 及び B ビクトリア系統も検出されました。

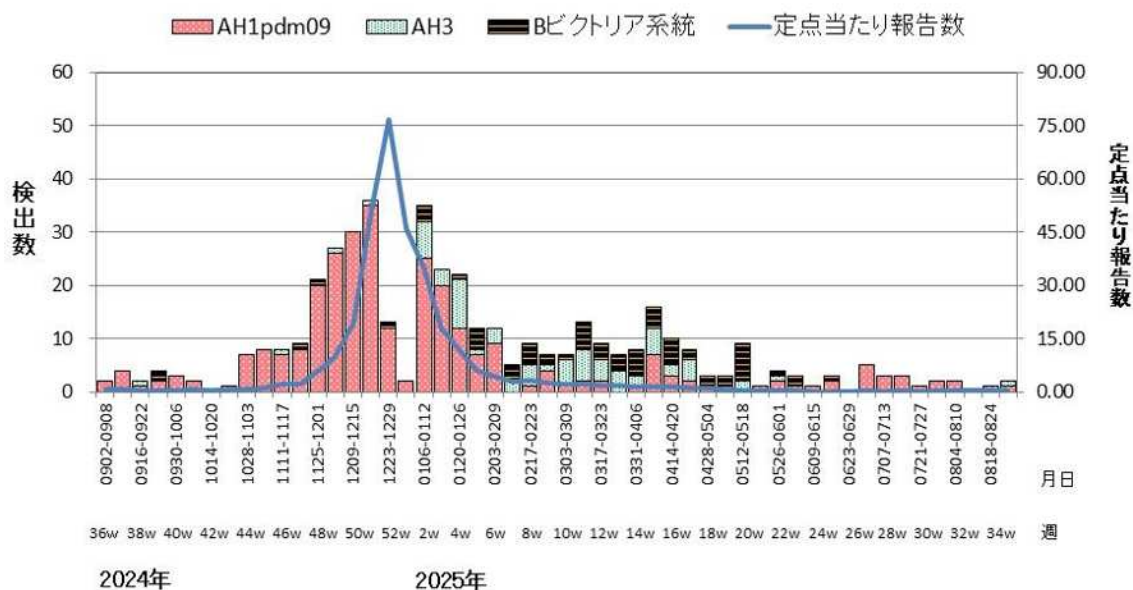


図 インフルエンザの定点当たり報告数とウイルス検出状況 (2024/2025 シーズン)

2025 年 4 月 7 日以降、インフルエンザウイルスの検出は急性呼吸器感染症 (ARI) 検体から行っています。病原体定点から ARI として搬入された検体について、インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス、RS ウイルス等様々な呼吸器感染症の原因病原体の検査を実施します。これにより、ARI の定義に合致する症例のうちどれくらいがインフルエンザであるかも推測できます。ARI の検査結果は、毎週感染症情報センターのホームページに「かぜ様症状の原因ウイルスの流行状況」※²として掲載しています。流行状況の把握の一助となれば幸いです。

※ 1 インフルエンザ流行情報 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>

※ 2 かぜ様症状の原因ウイルスの流行状況

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

[トップページ](#) > [県政情報・統計](#) > [県概要](#) > [組織案内](#) > [保健医療部](#) > [保健医療部の地域機関](#) > [衛生研究所](#) > [感染症情報センター](#) > [感染症発生動向調査 2025年](#) > 感染症の流行状況 2025年 第39週

感染症発生動向調査
2025年

▶ 感染症の流行状況 2025年
第1週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第2週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第3週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第4週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第5週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第6週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第7週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第8週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第9週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第10週

▶ 感染症の流行状況 2025年
第11週

▶ [感染症の流行状況 2025年](#)
第1回

▶ 感染症の流行状況 2025年
第4回

▶ 感染症の流行状況 2025年

▶ 感染症の流行状況 2025年

▶ 感染症の流行状況 2025年

第16回

▶ 感染症の流行状況 2025年

第17週

▶ 感染症の流行状況 2025年

第18週

▶ 感染症の流行状況 2025年

第19週

▶ 感染症の流行状況 2025年

第20週

▶ 感染症の流行状況 2025年

第21週

▶ 感染症の流行状況 2025年

第22週

■ 感染症の流行状況 2025年

第23週

▶ 感染症の流行状況 2025年

第24週

第25週

第26週

第27週

第28週

感染症の流行状況 2025年 第39週

2025年第39週（9月22日～9月28日）は、2025年4月以降、増加傾向が続いていた百日咳は、減少傾向となっているものの、まだ多い状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症は、前週と比較して減少しました。

該エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

全数把握対象疾患（百日咳）

第39週に診断された患者数は59人で、この内訳を年齢階級別にみると、10～14歳が19人（全体の約32%）と最も多く、次いで5～9歳が13人（約22%）でした。



定点把握対象疾患（新型コロナウイルス感染症）

定点当たり報告数は7.04で、前週と比較して減少しました。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★★
急性呼吸器感染症	→	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	→	★★★	ヘルパンギーナ	→	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	↓	★★
水痘（みずぼうそう）	↓	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい) *4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。